

Polaris news

【北高ニュース NO.202302】

「JICA 中部訪問」 国際協力はだれのため? (2023,6,01)

国際コース 38 名と留学生 1 名で JICA 中部を訪問しました。JICA の役割や国際協力の意義など考え、改めてグローバル社会の在り方について理解を深めました。また、日本の SDGs への取組や達成度についても学びました。前日にイングリッシュキャンプ(稲武)から帰ってきたばかりの生徒たちですが、初めて聞く話にしっかりと耳を傾けメモを取っている姿が印象的でした。













■生徒の感想より

- ・今回の訪問により、将来貧しい国に医療を届けたいとより強く思いました。そのためには勉強をするのはもちろん、世界の状況も知ることが大切だとわかりました。また、一人ひとりの小さな行動により、 状況を変えることができたり、勇気は感動を与えることができたりすることもわかりました。
- ・世界への関心がより深まった。また、世界との距離が近くなったような気がした。今後世界のニュース や堺で起きている問題を広い視野で見ることができるようになりたいと思った。
- ・ 僕もいつか他国の役に立つことをできるよう、技術をいろいろと学ぼうと思った。国際協力の第一歩として必要なのは相互理解だということを学んだ。
- ・パティシエになるという夢が大きく膨らみ、難民の人たちをスイーツで笑顔にできるパティシエになる というものになった。この夢は私の将来の理想像に一層近づけるものだと思った。